

# 日本の農業・有機農業を学ぶ

## グループ名：有機農業&元気かい(会)

岡田 忠宏 12期

高木 楨夫 12期

西尾 律子 12期

広瀬 範義 12期

湯浅 充章 12期

森本 美智子 9期

# 日本の農業・有機農業を学ぶ

はじめに 日本の農業・有機農業の大切さ

第1章 私たちの周りに変化が

第2章 食べ方の変化と農業生産

第3章 日本の農業とEUの農業

第4章 食糧危機

第5章 農業の立て直し

第6章 有機農業を支える

まとめ 私たちがすること

# 初めに 日本の農業・有機農業の大切さ

- モノが売れない
- 生活様式と社会の変化が食への関心を強めている
- 国民医療費が40兆円を超えた
- 食糧自給率が39%で改善見込みがない
- TPPが決まれば海外の食料が安く深く入り込む
- 世界人口の増加と食糧不足が心配
- 地球規模での異常気象で農業生産や国土の被害が心配

# 第1章 私たちの周りに変化が

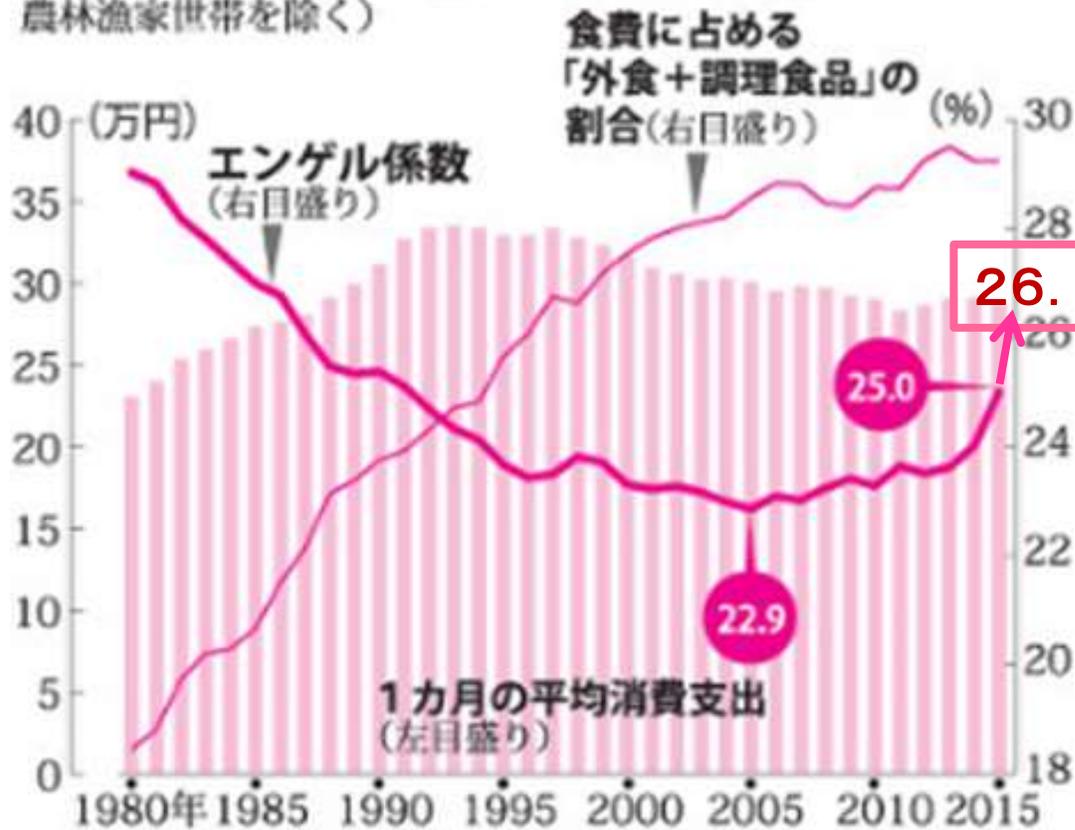
(1) 食への関心が高まっている

(2) オリンピックの後に来るもの

# (1) 食への関心が高まっている

エンゲル係数は上昇している

総務省「家計調査」、2人以上の世帯(1999年以前は  
農林漁家世帯を除く)



2016/8/5 毎日新聞

2016年6月 総務省 家計調査

エンゲル係数に変化

2005年23%→2015年27%

①食への関心の変化

②共働家庭の増加

③良質な食料の値上げ

④エンゲル係数は先進国より高い

## (2) オリンピックの後に来るもの

### オリンピックの5年後

- \* 団塊世代が75歳以上、75歳以上は2,200万人を超え4人に1人
  - \* 団塊世代が受給者側となり2人で1人が2050年からは1人で1人
  - \* 介護保険総費用は 2016年10兆円、2025年 20兆円
  - \* 医療費は 2016年40兆円、2025年60兆円
- 介護と医療で 30兆円追加

負担者は減り、支出は増える 一層の赤字国

医療・介護の社会費用を抑え、社会保険担者数の健全増加  
健康寿命をのばす生き方

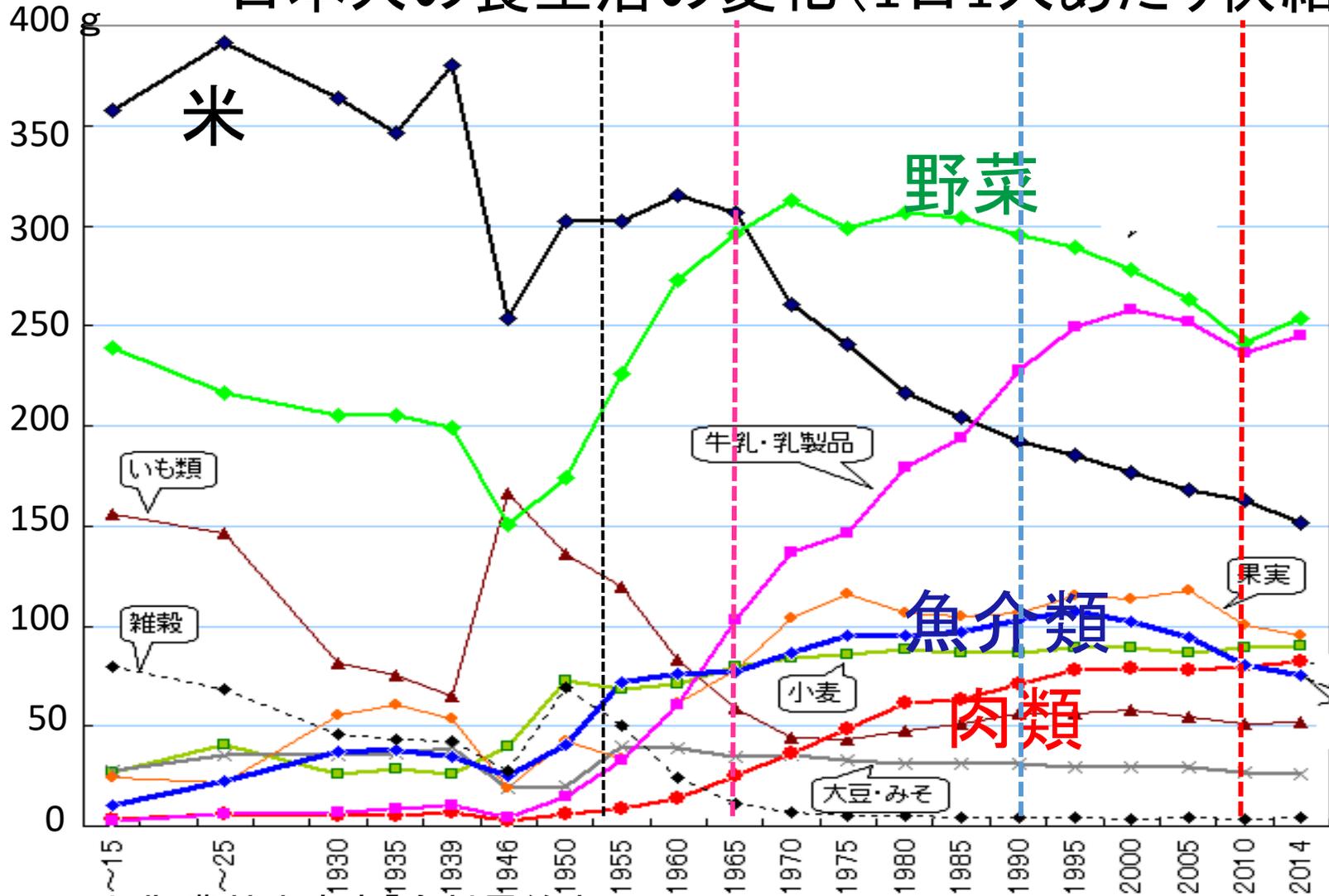
# 第2章 食べ方の変化と農業生産

(1) 食べ方の変化と農業生産

(2) 「食は文化なり」の大事なこと

# (1) 食べ方の変化と農業生産 -1

日本人の食生活の変化(1日1人あたり供給純食料)



1954年  
パン給食、パン食化

1965年  
食の欧米化運動

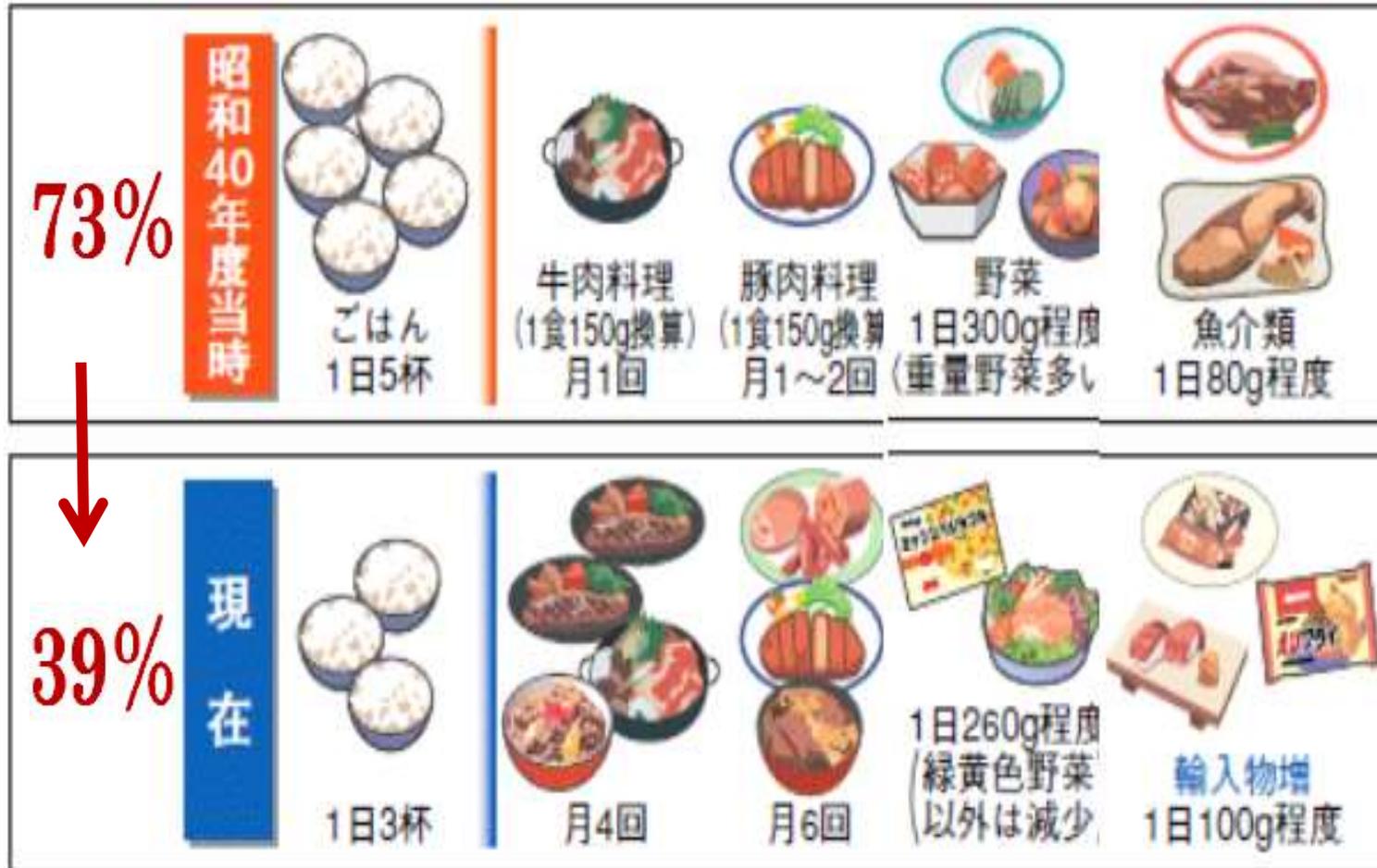
1990年  
伝統的家庭食が減少

2010年  
動物性脂質蛋白質増加

出典)農林水産省「食料需給表」

## (2)「食は文化なり」の大事なこと

### 食事内容の変化と食糧自給率の低下



日本は、お米と大豆 そして魚 の国  
和食文化は、

- ①豊かな自然と四季のある生活様式
- ②地域に根差した多様な食材
- ③「うま味」を活かした健康的な食生活
- ④食の共有で家族・地域の繋がり

食文化を変えた結果

食糧自給率は  
73%から39%へ

生活習慣病を増加させた

農水省 食事の変化と食糧消費量の変化

# 第3章 日本の農業と先進国EUの農業

(1) 日本の農業

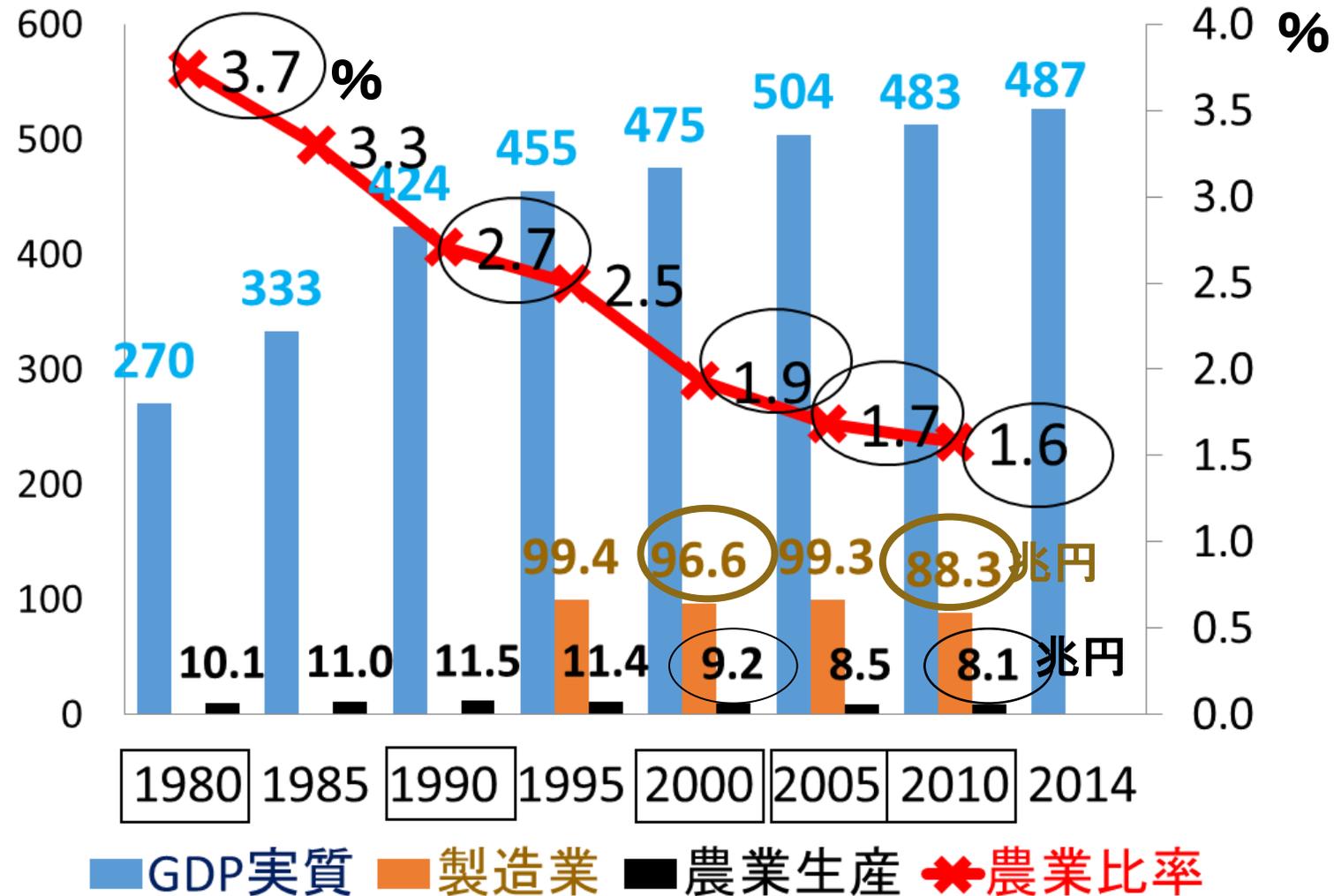
(2) 先進国EUの農業

(3) 日本と先進国EUとの違い

# (1) 日本の農業 -1

## GDP(名目)に占める製造業・農業の生産額

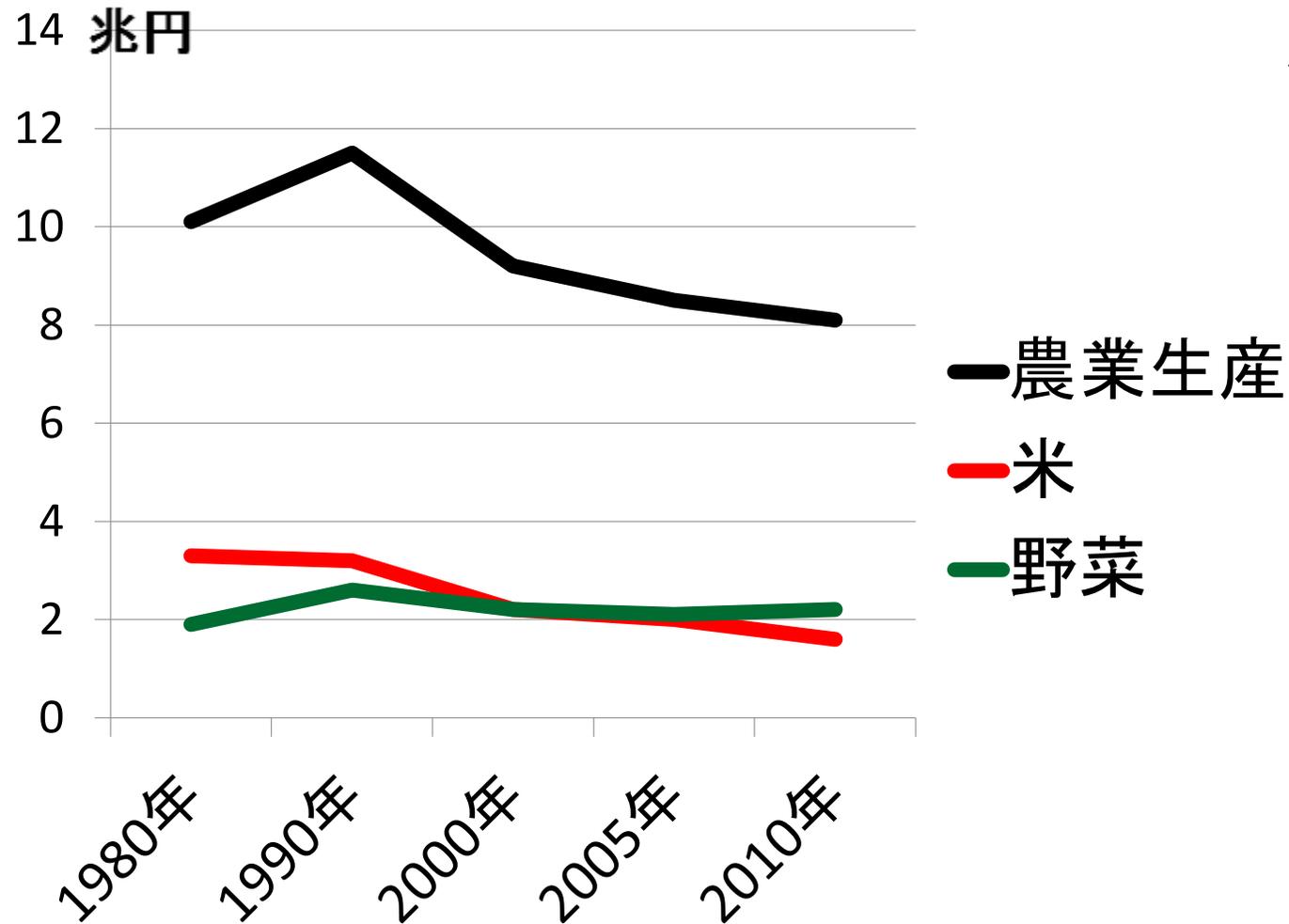
岩波新書「日本経済図説」第四版  
2015年5月講義資料 より作成



# (1) 日本の農業 -1

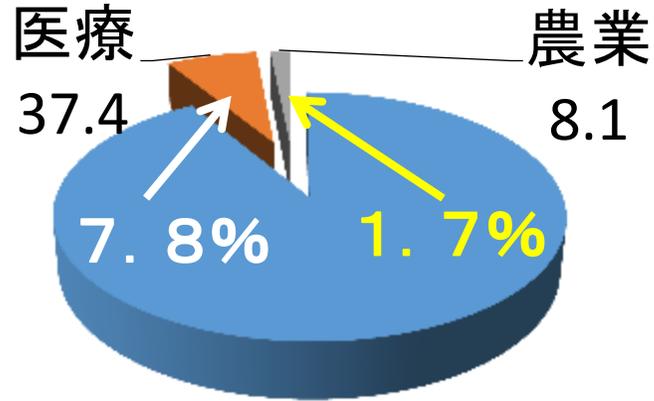
## 農業、米、野菜の生産額

岩波新書「日本経済図説」第四版  
2015年5月講義資料 より作成



# (1) 日本の農業 -2

2010年度  
GDP 482 兆円

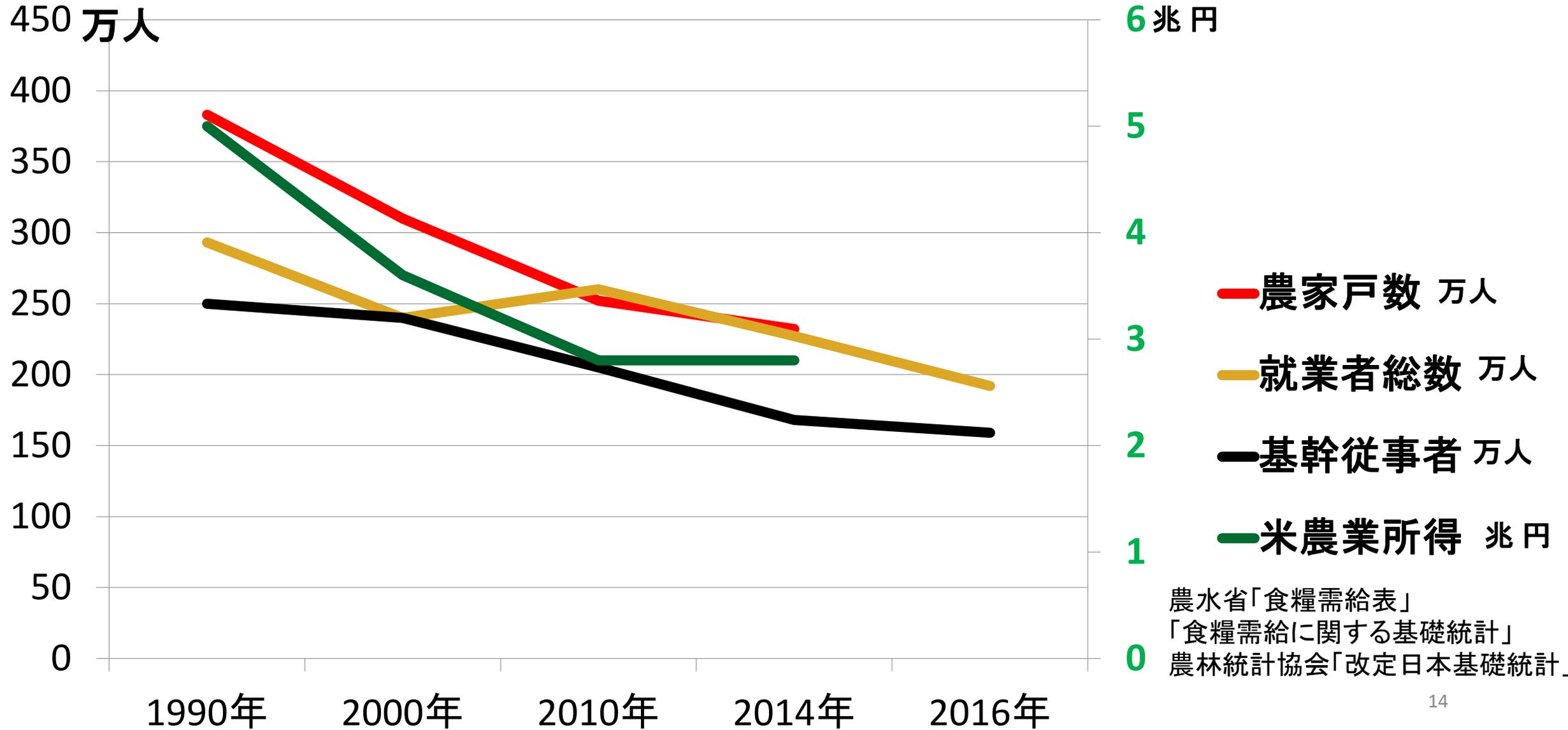


2005年度 農水産物の国内生産**10兆円** (農業8.5+漁業 1.5)  
飲食費最終消費額は**73兆円** (食品関連業63+農水産業10)

(平成19年度食料・農業・農村白書より)



# (1) 日本の農業 -3



# (1) 日本の農業 -4

**1961 農業基本法成立**

**1967 コメ供給過剰 史上最高 1450万トﾝ (国内消費 1200万トﾝ)**

—参考 2015年 生産780万トﾝ、消費800万トﾝ 2016年は750万t

**1970 減反開始**

稲作転換対策(1971~75年) 毎年1500億円

新生産調整推進対策(1996~97年) 農業補助金を1,000億円以下に減額

**2007 農業者・農業者団体による需給調整**

**2009 民主党・農業者戸別所得補償制度(全販売農家)未実施**

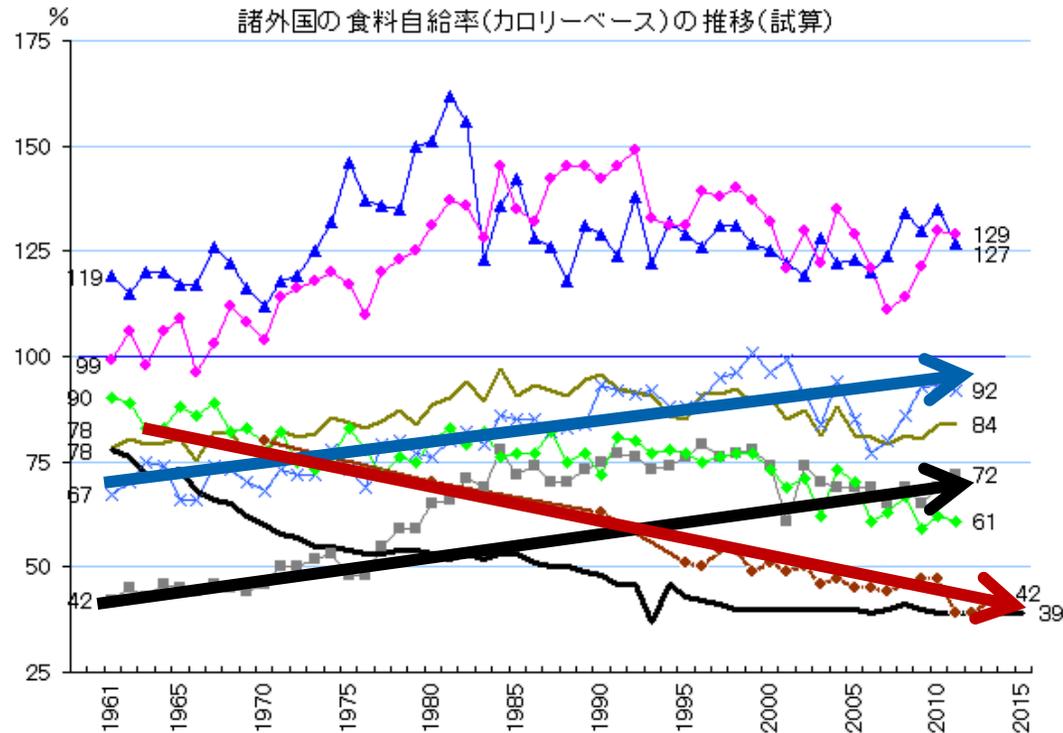
**減反政策の廃止(2018年) 転作奨励金は継続**

平成26年度「食料需給表」

## (2) EUの農業 -1

### イギリス、ドイツ、日本 食料自給率の推移

(資料) 農林水産省「食料需給表」



「国民合意で一貫した農業政策が実施された イギリス  
ドイツでは農業を立直し  
食料自給率を大幅に改善」

イギリス: 42→72%

ドイツ : 67→92%

日本 : 72→39%

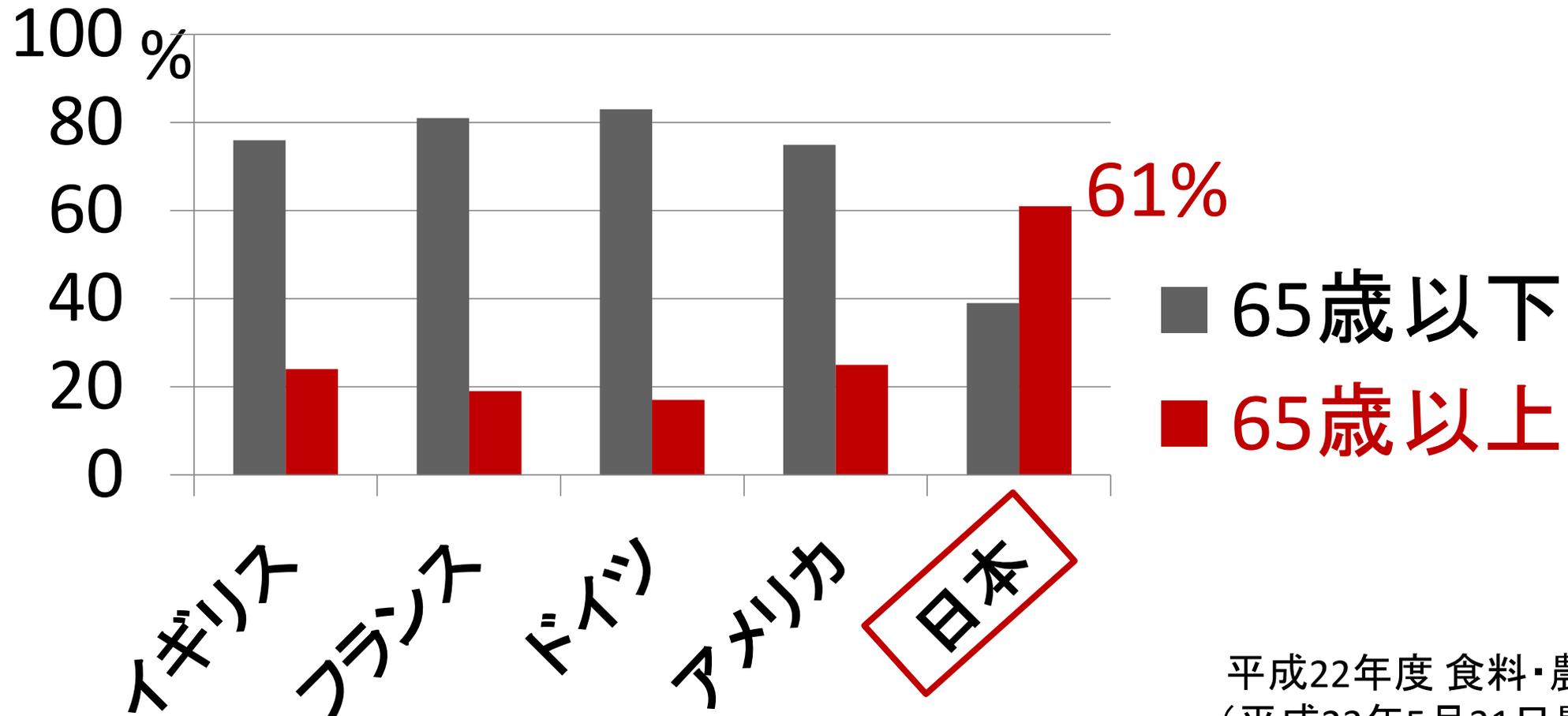
## (2) EU(フランス)の農業 -2

価格支持から **直接支払い移行**  
農村振興政策として **青年農業者の就農支援等を実施**  
農業人口における **40歳未満の割合が30%と倍増**  
**農家の規模拡大、農業人口の減少**  
**多面的機能を評価**  
**おいしい食べ物・景色にコストを払う**

EUの農業政策(農水省まとめ)平成26年11月19日更新 大臣官房国際部国際地域課 4項目で要約

## (2) EUの農業 -3

### 各国の農業従事者の年齢構成



平成22年度 食料・農業・農村白書」  
(平成23年5月31日農林水産省公表)

# (3) 日本とEUとの違い

日本とEUとの違い	EUフランスの農政	日本の農政
制度整備 「価格・所得政策」 「農村振興政策」 農村土地整備公社	直接支払 農村振興政策 Y F S	(猫の目農政)
①若者への就農支援	○青年就農スキーム	△青年就農給付金
②直接支払い	○	×
③環境土壌保全への国民理解	○	×
④農村土地整備公社	○ 1950年	△2012・16年 人・農地プラン 農地中間管理機構

# 第4章 食料危機

(1) 食料危機の諸要因

(2) 食料の安全保障とは

# (1) 食料危機の諸要因

世界の人口は

2050年には92億(20億人増加)

→穀物生産は1.6倍必要

2016年 生産 26億t



2050年 需要 42億t

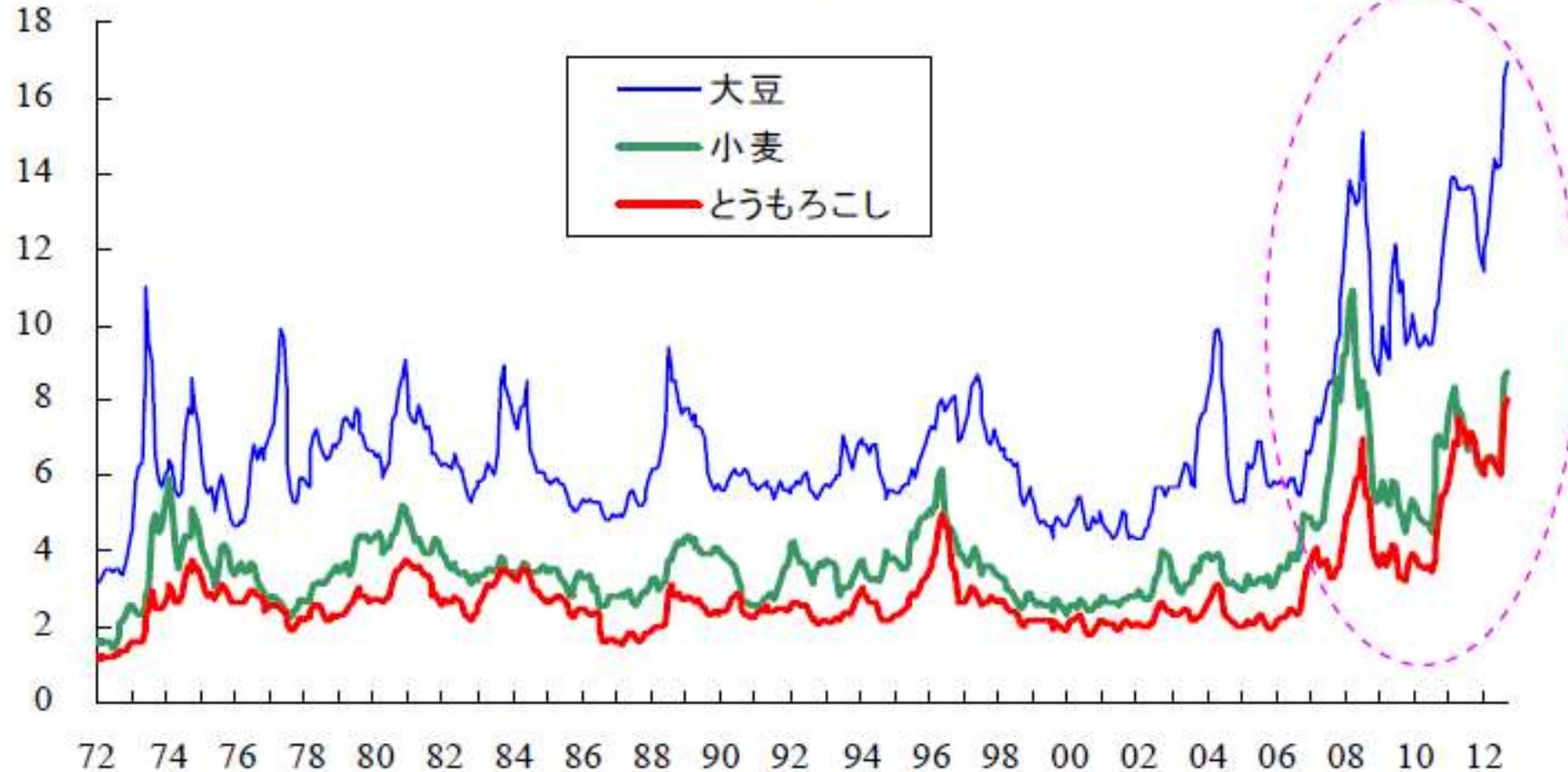
## 不安要因

- \* 世界各地での土壌劣化(2015年は国際土壌年)
- \* 異常気象の頻発
- \* 砂漠化、水資源の枯渇
- \* 国際穀物商社の寡占

# (2) 食料の安全保障とは -1

(ドル/ブッシェル)

第2図：主要穀物価格の推移



(注) 先物価格 (期近) の月平均値。

(年)

(資料) シカゴ商品取引所 (CBOT) 資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## (2) 食料の安全保障とは -2

国民に必要なだけの十分な食料を  
持続的に供給することができる能力

年間消費量の20%の在庫量確保が需要逼迫・価格高騰に対する安全基準

20140702講義

自由貿易は食料の安全保障を保証するものではない

平時において農地と資源を確保しておくのが政策

⇒人と農地「農地の2/3を地域の担い手に」

# 第5章 農業の立て直し

- (1) 農地中間管理機構の役割
- (2) 農地と担い手
- (3) 有機農業がその解決策を持っている

# (1) 農地中間管理機構の役割

農地を未来につなぎ、食と環境を守る…

農地中間管理機構の役割 20160217 三浦 恒夫 先生 講義

農が健全に継続されなければ維持できない

農の有する多面的機能を守る

1. 国民の健康を守る
2. 水資源を守る
3. 国土保全を図る
4. 生活環境を守る
5. 日々の暮らしを守る
6. 豊かな生活文化を守る

## (2) 農地と担い手

「最大の農政課題は米生産と耕作放棄」

2015年3月18日

みどり公社 三浦副理事長

耕作放棄地を無くし  
農地の2/3を 担い手集積

H35年(2023年)

全国: 450万haの80% 360万ha (H26年:230万ha)

兵庫県:7万5千haの2/3 5万ha (H26年:1万5千ha)

# (3) 有機農業がその解決策を持っている

章・項	今までの説明に使ったキーワードの整理
1-(1)	食事の位置付変化、食の安心・良質志向 / 先進国よりエンゲル係数が高い
1-(2)	医療・介護費用を抑える / 社会保険負担者を増やす / 健康寿命を延ばす
2-(1)	食の欧米化 / 伝統的家庭食が減少 / 米・農業生産額の減少
2-(2)	食料自給率減少 (73%から40%弱へ) / 生活習慣病増加
3-(1)	農業生産額8.1兆円でGDPの1.7% / 医療費は37.4兆円で7.8%
3-(2)	所得政策・直接支払 / 若者の就農支援 / 環境・国土保全コストへの国民理解
4-(1)	穀物需要の大幅増加 / 土壌劣化で収穫面積・収量の減少 / 異常気象の頻発
4-(2)	平時において農地と資源を確保しておく 農地の2 / 3を担い手に
5-(1)	農地中間管理機構の役割 / 農業が有する多面的価値を守る 土地利用の整理と担い手農家の育成 / 若者就農者支援
5-(2)	農が健全に継続されなければ維持できない 農の有する多面的機能 / 兵庫農林 水産ビジョン

# 第6章 有機農業を支える

- (1) 兵庫県環境創造型農業の推進
- (2) 有機農業について
- (3) 有機農業を支える

# (1) 兵庫県環境創造型農業の推進 -1

20160316 西村 いつき 先生 講義より

## 「環境創造型農業」

- ① 安全な食糧の供給機能
- ② 環境形成機能
- ③ 自然との共存機能
- ④ 教育的機能

人と自然、都市と農村、生産者と消費者が共に生きる社会の実現と、  
農業者の誇りを醸成する

# (1) 兵庫県環境創造型農業の推進 -2

## 兵庫県環境創造型農業推進イメージ



# (2) 有機農業について -1

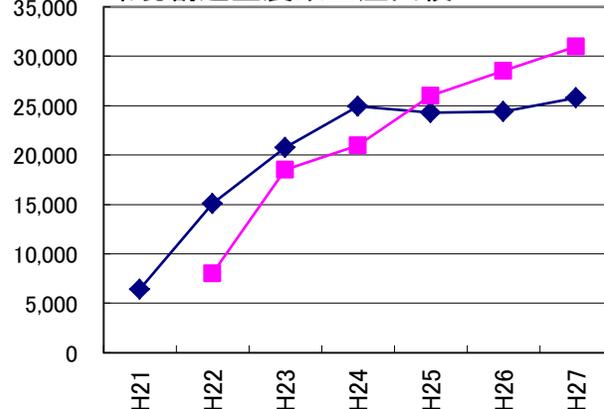
環境創造型農業生産面積等の実績(H27)と目標

単位:ha

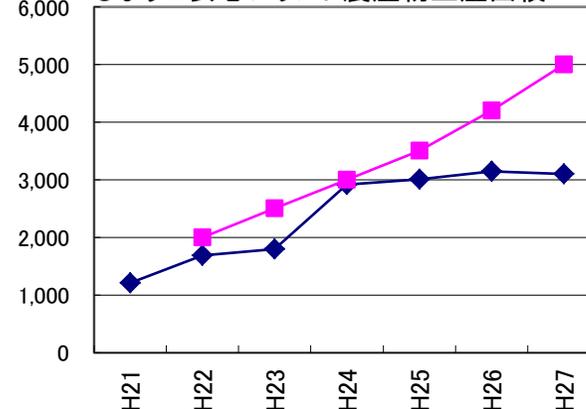
項目	H19	H26 実績	H27 目標①	H27 実績②	達成率 ②/①	H28	H32	H37
環境創造型農業 面積	4,281	24,387	31,000	25,772	83%	31,000	35,000	37,000
ひょうご安心ブラ ンド農産物面積	816	3,148	5,000	3,097	62%			
<b>有機農業面積</b>	<b>165</b>	<b>619</b>	<b>720</b>	<b>713</b>	<b>99%</b>	<b>800</b>	<b>1,040</b>	<b>1,200</b>

【農林水産ビジョン2025 成果指標項目】

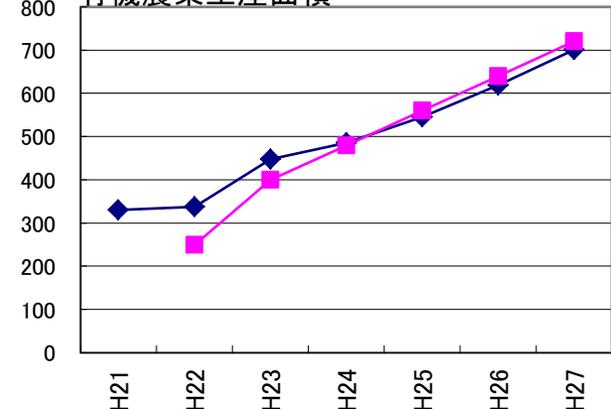
環境創造型農業生産面積



ひょうご安心ブランド農産物生産面積



有機農業生産面積



(ha)



# (2) 有機農業について -2

## 各国の有機農業の面積割合

国／年・%	2007年	2011年	2013年
日本	0.1	0.2	0.2
イタリア	9.0	8.6	10.3
ドイツ	5.1	6.1	6.4
フランス	1.9	3.6	3.9
イギリス	4.2	4.0	
韓国	0.5	1.0	1.1
アメリカ	0.5	0.6	

有機農業の推進について  
平成27年,28年  
有機農業の推進に関する現状と課題  
平成25年  
農水省資料より抜粋

日本の有機農家／有機農業面積  
有機農業者の年齢は全体に比べ若い層が多く、約半数が60才未満

区分	農家戸数	生産面積ha
有機JAS	4,000	5,300
有機JAS以外	8,000	10,700
有機合計	12,000	16,000
専業農家	2,400,000	2,400,000

# (3) 有機農業を支える -1

市場を通すと買ったたかれる

成功の有機農家もある

大口需要家が優位

都市住民が有機農業への体験に基づく理解をもって支える必要があり、  
楽農家と担い手の協働関係の大切さが求められる

### (3) 有機農業を支える -2

有機野菜 販売店	生産 農家数	同品目販 売数量比	プラスα 価格%	消費者
六甲のめぐみ	6	4%	10~ 15	固定客
パスカル三田	4	3%	10~ 15	固定客
コープ岡本	1(団体)	10% 2品目		
シーア住吉	2(団体)	5%		
トホーストアー	1(自社)	10% かんで野菜	5~10	一般 先に売れる

# (3) 有機農業を支える -2



東急ハンズ三宮店 @Hands\_Sannomiya 11月10日  
おはようございます！今日はあいにくの雨模様ですが、東急ハンズ三宮店は元気に営業中〜♪今日、明日（11/19・20）は、兵庫県の新鮮な朝どれ野菜が勢揃い！大好評！#野菜マルシェの開催ですよ〜♪(ノ^0^)/1階正面入口にて☆お見逃しなく〜♪



# (3) 有機農業を支える -3

## 若き有機農家の課題

	課題	内 容
1	直接販売の量拡大	直接販売の量を増やす クチコミPR マルシェの活用 対面売買での情報入手
2	固定客との契約	契約レストランを増やす 共同購入者の確保
3	販売方法	ネット販売の確立
4	物流改善	受注・配達 物流システムの確立 仲間作り（同業者・異業者）

# (3) 有機農業を支える -4

## 担い手と楽農家の協働

真南条宮農組合、大屋町ごちそうの会

クーネル会：篠山真南条、米・黒豆・野菜の有機栽培

おやこ食育アカデミー：サポート

しあわせの村：農園サポート

有機農産物購入（豊岡、小野、大屋、市島）

# (3) 有機農業を支える -5

## 担い手と楽農家の協働

交流



理解



納得



# (3) 有機農業を支える -6

## 「おやこ食育アカデミー」サポート 10数名

第 6 回 おやこ食育アカデミー記録				No. 7
記入日:	10月	18日		
実施日:	10月	16日	時間: 9:00 ~ 15:30	天候: 晴れ
場所:				気温: 25℃
参加者:	受講者	20名	11家族	湿度: 60%
保田先生、山下先生 スタッフ5名 子供8名 親御さん12名?				
スタッフ 11名				
SGS: 高木、山川、油井、木村、高島、広瀬、高木、湯浅、森本、西尾、岡田				
テーマ				
オリエンテーション、納豆作り、講義 『土作りと土の微生物の話』- 講師(保田茂先生) 実習 『ぼかし作りと畑作業』 サツマイモ とニンジン収穫				



# (3) 有機農業を支える -7

## 「しあわせ農場」サポート 10数名

しあわせの村農園サポート				No. 5
記入日:	月	日		
実施日:	6月	2日	時間: 10:00 ~ 13:00	3 Hr 天候: 晴れ
場所:	明生園の北側圃場			気温: 26 °C
参加者:	受講者	名	家族	湿度: 45 %
施設 佃。				
スタッフ 9名				
油井、木村、広瀬、森本、西尾、平山、櫻本、植杉、岡田				
テーマ/記録				
E-1,2,3,4,5,6 畝立、完熟牛糞堆肥+HYSを施肥、ニンジン播種 10Mx5梅+7M 全57M 4cm間隔 2条播き(1穴3~5粒 ave.3.5粒)で計算すると約9,000粒 残り数から判断して合っているようだ。 D畑サツマイモ: D-1,2,3の紅東はあまり元気ない、D-4,5,6,7の鳴門金時は元気・・・植付本数と不良数記入 水をたっぷりやり野草敷(草まみれ)施工、その他A、B、C畑草取りとニンジン間引(B-6,7,8) 保田先生も確認された(佃さん報告)・・・秘密の番号423				



# (3) 有機農業を支える -8

## クーネル会 真南条での活動 会員12名

### 2016 くーねる会 作業日誌3部

記入日	: 11月 1日	作業日	: 10月 30日	人数	: 10	No.	: 29		
出席者	: 高木 ○ 木村 × 油井 ○ 竹代 ○ 湯浅 ○ 高木 ○ 広瀬 × 森本 × 西尾 × 東條 × 藤原 × 岡田 ○ 井出 ○								
気象条件	: 晴れ		気温	: 17℃	湿度	: 55%			
作業日	: 10月 30日	人数	: 7	作業開始	: 9:30	作業終了	: ####	作業時間	: 3.5 Hr

秋の畑日和、営農組合事務所にて餅つき参加も予定に入れ作業開始  
午前中はF畑に全員で集中、11:45 営農組合事務所にて 餅つき、つきたての餅を食べた。真南条の餅米に  
この地の栗100%と丹波大納言の餡、それに油井さん仕立てのおろし大根・・・ああー美味しかった。  
湯浅さん、井出さんの杵姿も決まっていた。  
お餅の昼食後、もう一仕事、G畑 里芋収穫、大根養生ペットシュエルター回収、柿収穫



# むすび

有機農業拡大へ 楽農家として できることは

「保田ボカシ式有機農業」を自分でやってみて

1. 美味しい、体の調子もいい・…………… 体験とPR
2. 誰でも、何処でも、手軽にできるの…………… 体験とPR
3. 家庭農園から経営圃場まで対応できるの …… 体験とPR
4. 慣行農業より経費が安い…………… 体験とPR

有機農業を都市から支える

美味しい自慢の作物と豊かで美しい山・川を！

ご清聴ありがとうございました